

6 土地のつくり (p120~133) 6年 組 番 ()

6年生の理科は、実験の有無を考えて、学習する順番を変えて学習します。教科書 P132 の「6 土地のつくり/地震や火山と災害」から始めます。

ワークシートは教科書から書き抜くだけでなく、教科書の文章、図、写真やインターネットや本なども活用しながら、まとめことを心がけて学習しましょう。

また、以下の URL もしくは検索し、動画を見ながら課題に取り組むとよりよいと思います。

URL : ① http://www.nhk.or.jp/rika/endless6/?das_id=D0005110457_00000
② https://www.nhk.or.jp/rika/endless6/?das_id=D0005110458_00000

検索ワード : ①NHK for school 遠くはなれた地層のひみつ
②NHK for school 地層から歴史を探れ!

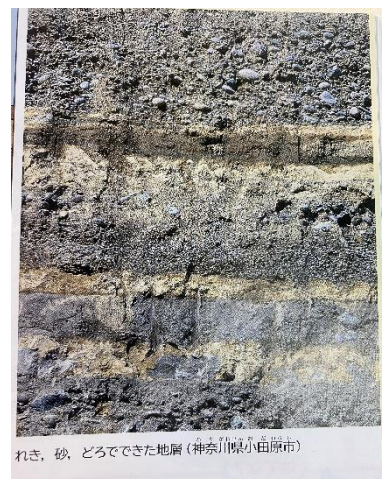
※ワークシートが印刷できない場合は、自分の理科のノートに、項目を立ててまとめましょう。

※次回の登校日(5月7日予定)にワークシートかノートを担任に提出しましょう。

☆新しい言葉

私たちの住む土地には、がけなどにしま模様が見られることがあります。このしま模様は、**ちそう地層**とい、いくつかの層が広く積み重なってできています。(調べてほしい言葉: 層)

課題1: 教科書 P122 の地層をみながら取り組みましょう。地層は、1つ1つの層が、どのようなものでできているのだろう。



<分かったこと・調べたこと>

解答例 (キーワード: 石の特徴 (大きさ、手ざわり)、色、層、地層 等が入っていればよいです!)

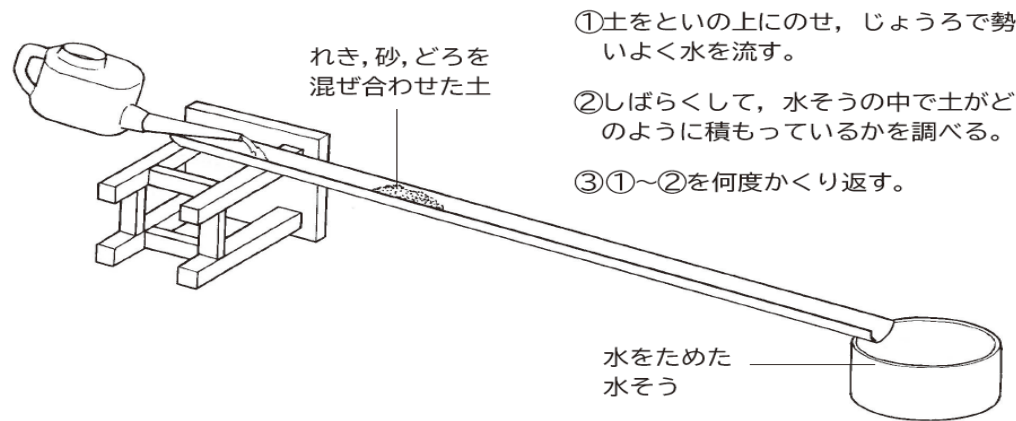
地層は、1つ1つの層が、れき (2mm以上、ごろごろしている)、砂 (つぶがはっきり見える、ざらざらしている)、どろ (つぶがみえない、ぬるぬるしている) などのつぶの大きさのちがう土や、色のちがう土でできている。地層には、火山灰でできたものもある。火山灰とは、火山がふん火したときなどに火口から出た小さい固体のつぶである。また、地層には化石がふくまれることもある。

☆新しい言葉

地層には、貝などがふくまれていることがあります。地層の中に残された動物や植物の死がいや、それらの生活のあとを**かせき化石**といいます。(調べてほしい言葉: 死がい)

課題2：地層はどのようにしてできるのでしょうか。（P131）

○れき、砂、どろを混ぜ合わせた土を水で流して、土が層になって積むかどうかを調べましょう。



◎何度か水を流して調べた結果 （横から見た様子）
<分かったこと・調べたこと>

（解答例）キーワード：れきや砂、どろが分かれて層になる、流れる水のはたらきによって運ばんされ、たい積する
れき、砂、どろを混ぜ合わされた土は、流れる水のはたらきによって、運ばんされる。土は、つぶの大きさ
で分かれて水そうの底にたい積する。これを何度か繰り返すと層の重なりができる。
川などでは、海に向けて流されていく。しずみやすいれきが陸に近いところでたい積し、砂、どろの順で
しずんでいく。どろは、より沖の方へと運ばれる。

☆新しい言葉 海や湖の底にたい積したれきや砂、どろなどの層は、長い年月をかけて固まり、岩石になることもあります。こうしてできた岩石をたい積岩といいます。たい積岩には、下の種類などがあります。（P133～137 参照）

①		① （ れき 岩）
		特ちょう：れきなどが固まってできた岩石
②		② （ 砂 岩）
		特ちょう：砂が固まってできた岩石
③		③ （ どろ 岩）
		特ちょう：どろが固まってできた岩石

6 地震や火山と災害 (p148～154)

6年 組 番 ()

このプリントは○付けが難しいと思うので、分からない場合は、△を付けておいてください！（後日、先生が○を付けます）

6年生の理科は、実験の有無を考えて、学習する順番を変えて学習します。教科書 P132 の「6 土地のつくり/地震や火山と災害」から始めます。

ワークシートは教科書から書き抜くだけではなく、教科書の文章、図、写真やインターネットや本なども活用しながら、まとめことを心がけて学習しましょう。

また、以下の URL もしくは検索し、動画を見ながら課題に取り組むとよりよいと思います。

URL : http://www.nhk.or.jp/rika/rika6/?das_id=D0005110270_00000

検索ワード：NHK for school ふしぎ情報局 ゆれる大地

※ワークシートが印刷できない場合は、自分の理科のノートに、項目を立ててまとめましょう。

※次回の登校日（5月7日予定）にワークシートかノートを担任に提出しましょう。

課題 私たちが住む日本は、地震や火山ふん火が多く起こる国です。以下の視点から、地震や火山ふん火時にどのようなことが起こるのか、どのような対策をしているのかをまとめましょう。

① 地震や火山ふん火が起こるとどのようなことが起こりますか？（地震と火山ふん火に分けてまとめてみましょう）絵や図なども使ってまとめるとよりよいです！

キーワード： 地震⇒ゆれ、土地ずれ、土砂くずれ、津波 等 火山ふん火⇒溶岩が

※いずれかのキーワードを使って、まとめられているとよいです！

また、過去の地震やふん火を例にあげながら説明できているとよいですね！

6 地震や火山と災害 (p148～154)

6 年 組 番 ()

- ② 地震や火山・火に備え、日本や東京都、港区ではどのような対策をしていますか？
(対策のみを書くのではなく、どんな効果があるのか、どんなよさがあるのかもかきましよう！)

※この課題のポイントは、地震や火への対策によって、どんなよさが書いてあるかが分かることです！

【だれが】⇒日本？東京？港区？

【いつ】⇒起きる前/起きた後に

【どのように】⇒(例) 全員がすぐにひなんできるように、すぐに家族の居場所が分かるように 等

【よさ】⇒(例) きん急時に、冷静に行動ができる、家族の安否を確認することができる 等

これらのことが分かる文章、図などであれば○を付けてください！

- ③ 地震に対してみなさんは、6年生としてどんなことができるでしょうか？

起きる前と起きた時に分けて考えてみましょう。

起きる前

自分ができること：(例) ひなんする時に持って行く物を用意しておく、親と待ち合わせ場所を決めておく 等

学校でできること：(例) 下級生の手本となる態度で、ひなん訓練に臨む、災害について学ぶ

※きん急時は、まず、自分のためにできることを考えることが第一です！しかし、起きる前は、他の人のためにもできることも考えられるとさらにいいですね！

起きる後

起きた後は「自分が安全に行動すること」や「ひなん所でできること」等が考えられると思います。

自分ができそうなことを書いてあれば、○を付けてください！

学習感想

簡単、難しい、楽、大変などの感想だけでなく、「どんなことを学んだのか」「この学習を生かしてどんなことができそうか」等、自分の日常生活から始められることを書けるとよりよいですね！

※特に、○を付ける必要はありません。